



昔ながらのお正月遊び 「日本の正月遊び10選」



「懐かしいなあ」…、お正月遊びといえば、「羽根つき」や「凧揚げ」といった昔の遊びを思い浮かべますが、実際に遊んだことのある方は少ないかもしれません。お正月遊びは世代を超えて楽しめ、親から子へ、祖父母から孫へ、伝承する喜びは格別です。日本の伝承遊びは、遊びやおもちゃを通じて知恵や発育を促すものばかりです。お子さんにとっても素敵な思い出になるでしょう。その由来から、子どもの健やかな成長や家族への願いも読み取れるので、家族の絆を強めるのにも役立ちます。この機会に親子でチャレンジしてみたいはいかがでしょうか。



- ① 「羽根つき」……羽根つきは一年の厄をはね、子どもの健やかな成長を願うものとして、親しまれてきたものです。打ち損じると顔に墨を塗るのも、魔除けのおまじないです。
- ② 「凧揚げ」……江戸時代、男の子の誕生祝いとして、また庶民の遊びとしても広まりました。凧が高くあがるほど神様に近付き、願いが叶う、元気に育つと言われていました。
- ③ 「いろはかるた」「百人一首」…「いろはかるた」…子どもが遊びながら字やことわざを覚えられるようにと江戸時代後期に考案されました。「百人一首」…宮中の遊びだったものが江戸時代の木版画技術によって庶民に広がり、お正月に楽しまれるようになりました。
- ④ 「福笑い」……目隠しをして、輪郭の上に眉・目・鼻・口などを置いていくゲームです。「笑う門には福来る」と縁起がいいことから、正月にふさわしい遊びになったようです。
- ⑤ 「双六(すごろく)」…サイコロをふってコマを進めるだけのシンプルなルール。勝敗は運次第、何人でも参加できるお正月の団欒にぴったりで、その年の運試しにもなります。
- ⑥ 「めんこ」……床に置いためんこめがけて自分のめんこを打ちつけ、風圧や衝撃を利用して相手のめんこを動かすのが基本です。最終的に枚数の多い者が勝ちです。
- ⑦ 「お手玉」……手先を使う遊びで脳を刺激して集中力も増すため、子どもの頃から親しみ、日本人の手先の器用さに貢献しました。現在、ボケ防止としても注目されています。
- ⑧ 「コマまわし」……貴族の遊戯でしたが、江戸時代から庶民の遊びとなりました。物事が円滑に回るに通じて縁起がよく、うまく回ると子どもが早く独り立ちできると言われます。
- ⑨ 「けん玉」……大正時代、玉を太陽(日)に、浅い皿を三日月に見たてて「日月ボール」と言いました。これが昭和初期に大ブームとなり、子どもの定番おもちゃとなりました。
- ⑩ 「だるま落とし」…だるまが最後まで落ちないように、下に積み重ねた段を小槌でたたいていくゲーム。最後までバランスよく保つのが難しく、力や方向を加減しながら楽しめます。